



REQUEST SITE CONSTRUCTION SYSTEM

一括見積り・資料請求サイト 構築システム

設置マニュアル

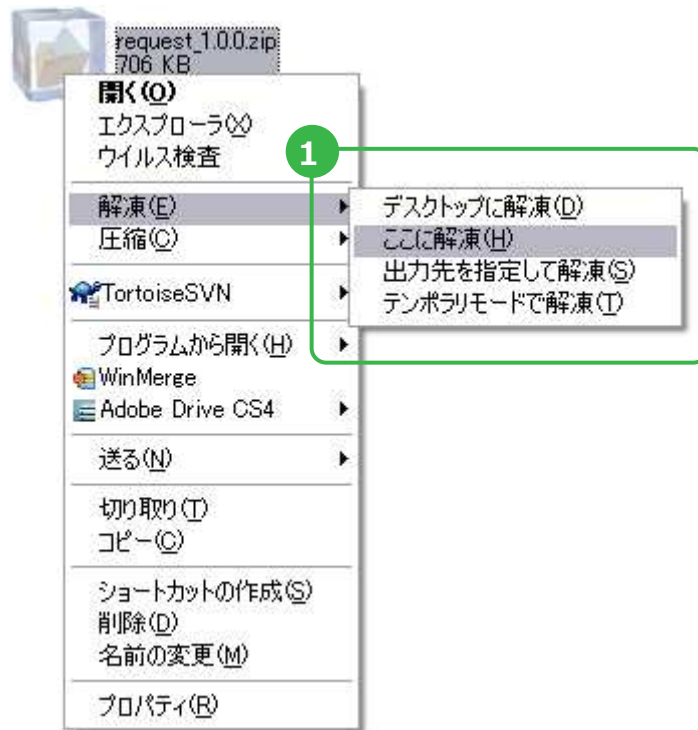
このたびは、一括見積り・資料請求サイト構築システムをご利用いただき、
誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、主にシステムの設置について説明しています。
尚、内容はバージョンアップなどにより予告なく変更される場合があります。

| | |
|---------------------------|----|
| 1. インストール手順 | 3 |
| 1-1.圧縮ファイルの解凍 | 3 |
| 1-2.設定ファイルの編集 | 4 |
| 1-3.ファイルのアップロード | 5 |
| 1-4.データベースの初期化 | 8 |
| 2.インストール後の設定手順 | 10 |
| 2-1.システム設置後の設定 | 11 |
| 2-2.管理画面へログイン | 12 |
| 2-3.SSLの導入について | 14 |
| 3. その他 | 15 |
| 3-1.エラー対処方法 | 16 |
| 3-2.インフォメーション | 16 |

1-1.圧縮ファイル(ZIP形式)を解凍

ダウンロードしたパッケージのZIPファイル「request_0.0.0.zip」を解凍ソフトで解凍します。
ZIPファイル名についている数字は製品のバージョンとなっています。



- 1 「request_only_0.0.0.zip」を選択し、右クリックします。
「解凍」からファイルの解凍先を選択します。

1-2.設定ファイルを編集

設置先の環境に合わせて、各種設定ファイルを書き換えます。

データベースの設定ファイル「./custom/extends/sqlConf.php」をテキストエディタで開きます。

```
1 <?php
2
3
4 /**
5  ** SQL DATABASE 用 定義 **
6  **
7  **/
8
9 $SQL = true; // SQLを用いるかどうかのフラグ
10 $SQL_SERVER = 'localhost'; // SQLのサーバ
11 // $SQL_PORT = '3306';
12
13 // SQLデーモンのクラス名
14 $SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
15 // $SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
16
17 $DB_NAME = 'request'; // DB名
18 $SQL_ID = 'request'; // 管理ユーザーID
19 $SQL_PASS = 'request'; // 管理ユーザーPASS
20
21 $TABLE_PREFIX = '';
22
23 $CONFIG_SQL_FILE_TYPES = Array('image', 'file');
24
25 //the 128 bit key value for crypting
26 $CONFIG_SQL_PASSWORD_KEY = 'adfasdfasdfasdf';
```

1 「\$SQL_SERVER='localhost'」は、サーバー側の設定に応じて変更してください。

2 「SQLデーモンのクラス名」より、データベースを選択します。

標準ではSQLiteが選択されており、そのままSQLiteをご利用される場合は本項2、及び3について設定を行う必要はありません。MySQLを選択する場合のみ以下の作業を行って下さい。

設定するデータベースの先頭にあるコメントアウト「//」を外します。

デフォルトでは『SQLite』に設定してありますので、先頭にコメントアウト「//」を記述して無効にします。

【初期設定】
\$SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
// \$SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';



【変更後の設定】
// \$SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
\$SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';

これで、「MySQLDatabase」データベースに変更されました。

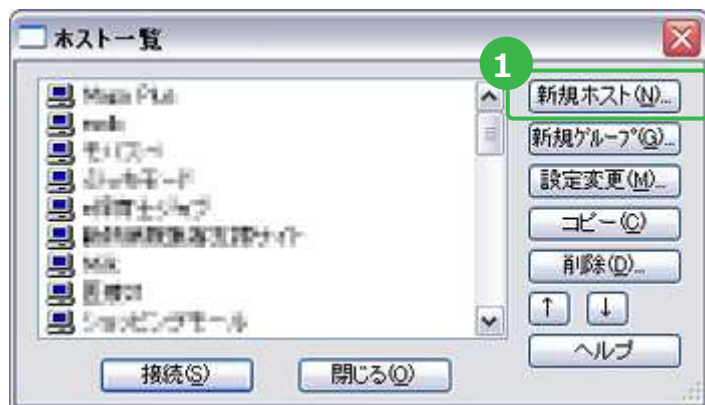
3 データベースに応じて、データベース名、管理ユーザーID、管理ユーザーPASSを設定します。

【初期設定】
データベース名 : request
管理ユーザーID : request
管理ユーザーPASS : request
※SQLiteに設定してある場合、ID、パスの設定は必要ありません

4 MySQLはパスワード保存の暗号化に対応しています。必要に応じて「暗号キー」を16桁の英数字で編集ください。

1-3. ファイルのアップロード (1)

FTPクライアントツールを利用し、パッケージファイルをサーバーにアップロードします。
フリーソフト「FFFTP」を使用してのアップロード方法を説明します。



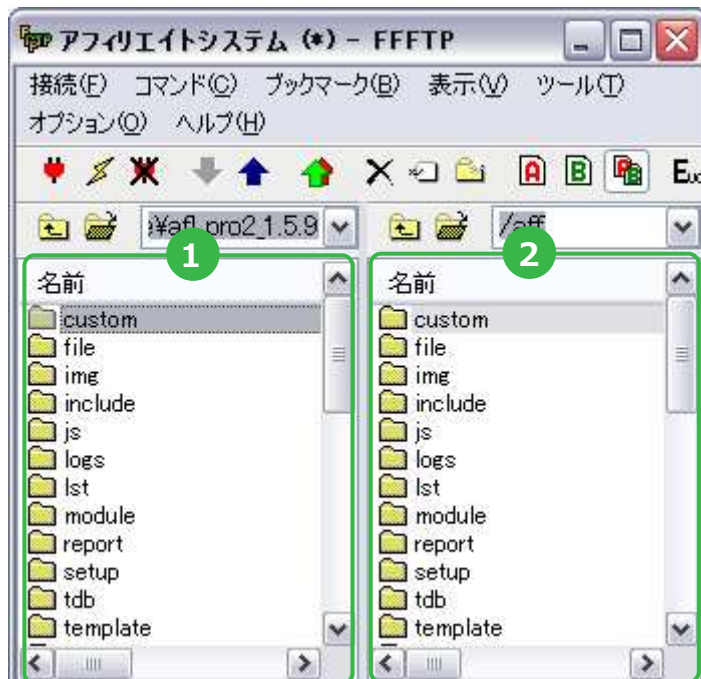
- 1 FFFTPアイコンをクリックすると、ホスト一覧が表示されますので、右横にある「新規ホスト」をクリックします。



- 2 「ホストの設定」画面にあるインデックス「基本」より、FTPアカウントを入力し「OK」ボタンをクリックすると、FTPサーバーに接続されます。

※ローカルの初期フォルダ（ファイルの保存先）を設定しておく、アップロード・ダウンロード時に便利です。

1-3. ファイルのアップロード (2)

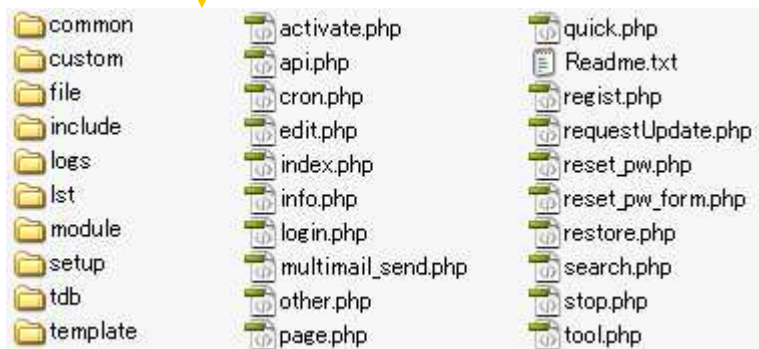


1 画面の左側は、ファイルの保存先が表示されます。

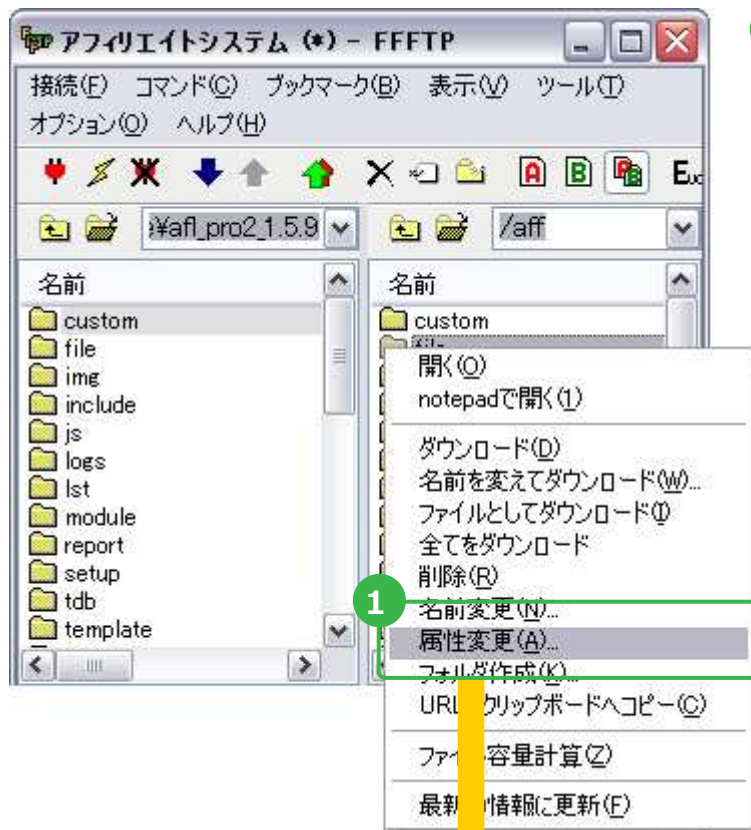
2 画面の右側は、FTPサーバーにアップロードされたファイルが表示されます。

保存先のファイルを全て選択し、ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードします。

アップロードするファイルの一覧です。

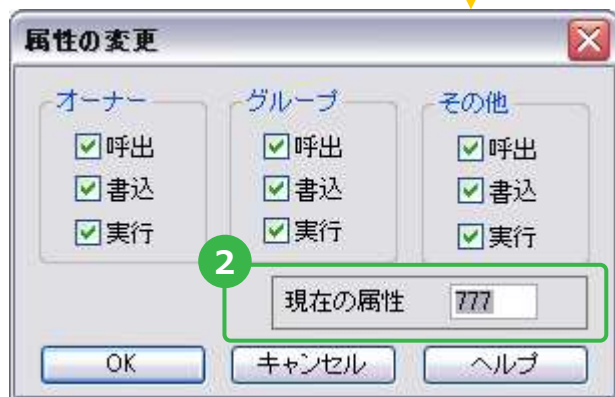


1-3. ファイルのアップロード (3)



- 1 画面の右側にあるアップロードされたファイルのパーミッションを変更します。

変更するファイルを選択し、右クリックで、「属性の変更」をクリックします。



- 2 「属性の変更」画面が表示されますので、「現在の属性」欄に下記の数字を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

./file/ →777

./file/以下にある全て →777

./logs/ →777

./logs/以下にある『*.log』全て →666

./tdb/ →777

./tdb/以下にある全て →777

./tdb/common/以下にある『*.csv』全て→666

./tdb/items/以下にある『*.csv』全て→666

./tdb/module/以下にある『*.csv』全て→666

./tdb/super_user/以下にある『*.csv』全て→666

./tdb/system/以下にある『*.csv』全て→666

./tdb/template/以下にある『*.csv』全て→666

./tdb/user/以下にある『*.csv』全て→666

1-4.データベースの初期化（1）

データベースの作成

システムが使用するデータベースを作成します。

データベースの作成は、設置環境によって異なりますので、サーバーのマニュアルを参照ください。

データベースの文字コードは、「sjis」を指定して下さい。

参考)

phpMyAdmin等から操作を行われる場合は「sjis_japanese_ci」をご指定ください。

ブラウザより「http://[設置先](#)/tool.php」にアクセスし、データベースの初期化を行います。



- 1 ログインフォームが表示されますので、初期設定パスワード「admin」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin

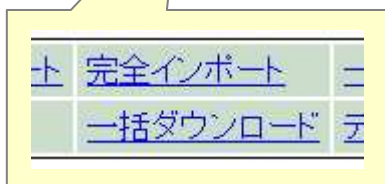
1-4.データベースの初期化 (2)



- 1 ページの最下部にある「完全インポート」をクリックします。

※サーバーの状況により、非常に時間が掛かる場合があります。

※SQLiteご利用時は5分～15分以上かかる場合があります。



- 2 「http://設置先/index.php」にアクセスしてシステムのトップページが正常に表示されていればインストールの完了です。

※「tool.php」はご利用後、必ずサーバー上から削除して頂くようお願い致します。

※SQL導入後「./tdb/以下のデータ」等は削除して頂くか、パスワード設定を管理者様の責任で行って頂くようお願い致します。

2.インストール後の設定手順

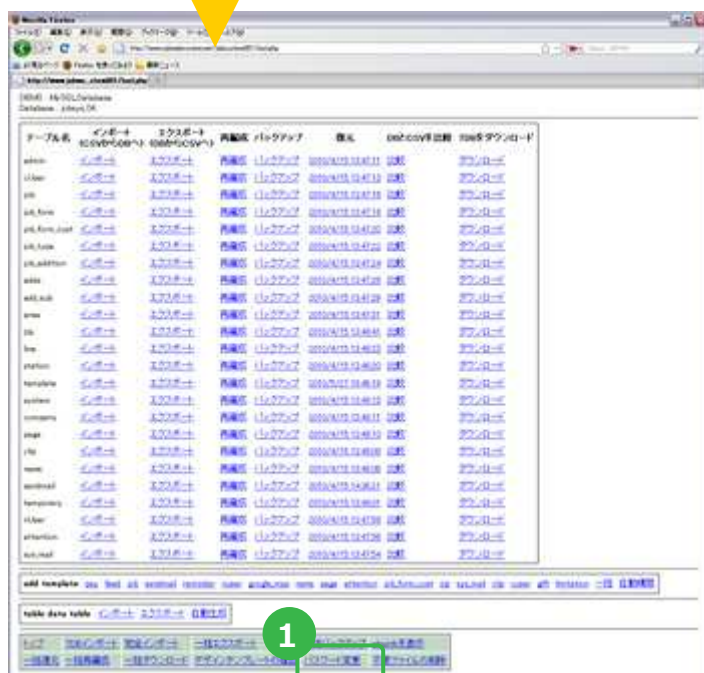
ここからは、サイトを運営するにあたっての設定手順についての説明です。

- 2-1.システム設置後の設定
- 2-2.管理画面へログイン
- 2-3.SSLの導入について

2-1.システム設置後の設定

ツールのログインパスワードを変更する

まずは、<http://設置先のURL/tool.php>にアクセスします。



デフォルトのパスワードを入力し、
「ログイン」ボタンをクリックすると、操作画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin

1 ページの下部にある「パスワード変更」をクリックします。



2 新しいパスワードを入力し、「変更」ボタンをクリックして、「変更しました」と表示されたら完了です。

POINT

tool.phpは、データベースを操作する為の重要なプログラムです。

上記に従いパスワードを変更するか、御利用後は削除するかいずれかを必ず行うようお願い致します。

2-2.管理画面へログイン（1）

管理画面へログインする

まずは、<http://設置先のURL/login.php>にアクセスします。

- 1 メールアドレスとパスワードを入力し、「[ログイン](#)」ボタンをクリックすると、管理画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

メールアドレス : admin@example.com

パスワード : admin

2-2.管理画面へログイン（2）

ログインアカウントの設定

管理画面にログイン後、必ずログインアカウントを変更してください。
安全にご利用いただくためにも、定期的にパスワードを変更することをお薦めします。



- 1 管理メニュー「**管理者アカウントの設定**」をクリックします。



- 2 メールアドレスとパスワードを変更します。

2-3.SSLの導入について

独自SSLを契約されていてシステムにSSLを導入して頂く場合、下記の設定ファイルを変更してください。
SSLの設定ファイル「./custom/extends/sslConf.php」をテキストエディタで開きます。



```
1 <?php
2 include_once './include/extends/SSLUtil.php';
3
4 //SSLへのリダイレクトを有効に
5 $CONFIG_SSL_ENABLE = false;
6
7 $CONFIG_SSL_MOBILE = false;
8
9 $CONFIG_SSL_ON_CHECK_FILES = Array(
10     'regist.php', 'edit.php', 'cart.php', 'login.php', 'reminder.php'
11 );
12
13 $CONFIG_SSL_OUT_CHECK_FILES = Array(
14     'template.php', 'activate.php', 'favorites.php', 'index.php', 'info.php', 'other.php', 'page.php',
15     'report.php', 'search.php', 'shop.php', 'template.php'
16 );
17
18 );
19
```

1 「SSLへのリダイレクトを有効に」より、設定を変更します。

※デフォルトでは「\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;」に設定されています。

「false」を「true」に変更してください。

【初期設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;

【変更後の設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = true;

これで、「SSLの導入」への設定が完了です。

3.その他

その他、インフォメーションです。

3-1.エラー対処方法

3-2.インフォメーション

3.その他

3-1.エラー対処方法

Parse error:syntax error, unexpected T_OBJECT_OPERATOR in
./include/ccProc.php on line 592

A

上記のようなエラーが出た場合、お使いのPHPバージョンが5ではない可能性があります。
PHP 5が利用可能なサーバーに移転をお願い致します。

<アップデートについて>

<http://www.websquare.co.jp/update.html>

<アップデート手順>

http://www.websquare.co.jp/update_flow.html